



令和 5 年 3 月 3 日  
伊勢市教育研究所  
伊勢市小俣町元町540番地

令和4年度教育研究プロジェクト「幼稚園教育に係る実践研究」

小俣幼稚園公開保育研究会

研究会報告  
第2弾

11月18日(金)小俣幼稚園にて、公開保育研究会が行われました。『思考力を育むための環境構成の工夫や援助のかかわりを考える～人・もの・自然ともかかわりを通して～』を研究テーマに、3歳児いちご組の保育を公開していただきました。公開前のオリエンテーションでは、助言者の高田短期大学 寶來 敬章 准教授より、「子ども(同士の姿)、環境との関わりだけでなく、保育者が仮説として設定した『落ち着いて安心して自分を出して過ごすこと』と『夢中になって遊ぶことができる環境』となるよう構成した環境の在り方等について、気づいた点や指摘について協議・検討したい。」とグループ討議に向けてのお話がありました。



公開保育では、子どもたちが楽しく遊びながら、『楽器作りや演奏会ごっこ』に向かっていける丁寧で季節を感じることでできる環境構成や、一緒に遊んだり工作の援助をしたりしながら「すごいね。」と声をかけて安心して遊べるようにするなどの担任によるきめ細かい配慮が感じられました。

その後の研究発表では、担任の森教諭による研究の発表が行われました。グループ討議では、オリエンテーションで提案のあった視点について話し合わせ、代表による発表が行われました。

寶來 敬章 准教授からは、各グループの発表で共通していることをまとめながら、『子どもの思考力』と『協力し合う姿』等について教えていただきました。そして、研究会が終わりではなく、このままこの素晴らしい取り組みを続けていくことの大切さについてもお話いただきました。

環境構成により子どもが遊びを選択できる。



それが保証されている。



のびのびと

「ああしよう！」

「こうしよう！」

と遊べる。



✿思考力につながる✿

発表の時に・・・

\*楽器を鳴らしてしまった子がいたが、誰も怒る子がいなかった。

\*他の子の演奏の時、静かに待てた。



思いを共有している。



✿3歳のクラスで

協力し合っている ✿

<参加者の感想より>



- ・子どもたちが、試したり、工夫したりして遊びに没頭する姿から、夢中になって遊び込める保育が展開されていることが伝わりました。また、自分たちでプラフォーミングを並べて場を設定したり、楽器を選んだり、自然な流れで自主性が養われていることを感じました。
- ・森先生が丁寧に言葉をかけ、かかわり、ふれ合う様子を見て、安心感のある夢中になって遊べる環境だと感じました。自分の保育を振り返るきっかけとなりました。
- ・寶來先生のお話を聞いて、協力し合えるクラスづくりをしたいと思った。



## 教育支援センターNEST から



### ヨガ教室 1月 場所：大研修室



1月20日(金)、ヨガインストラクターの浅井順子さんを講師としてお招きし、今年度4回目のヨガ教室を行いました。ヨガ教室は子どもたちにとって、人気のある体験活動で、この日は小学生2名、中学生4名、計6名が参加し、これまで数回参加したことがある子も、初めて参加した子も、落ち着いた雰囲気の中、気持ちよく体を動かすことができました。

参加した子たちからは「初めてすることがたくさんあって、とても楽しくできました。」「リラックスできて気持ちよかったですし、楽しかったです。」「ヨガ体験は、最後まで楽しく過ごせましたし、とてもリラックスできました。」という感想を聞くことができました。



### ホッとLine NEST 1月 場所：NEST教室

1月28日(土)、不登校・登校しぶりをともに語り考える会として「ホッとLine NEST」を開催し、7名(保護者、教職員)の参加者が、子どもの様子や日々の悩みについて語り合いました。また皇學館大学 教育学部 渡邊 賢二教授より、子どもたちの心との向き合い方について、ご助言をいただきました。「日常のコミュニケーションを大事にしてほしい。親子で一緒にゲームをするのもよい。『行動の共有』は『感情の共有』になる。」という渡邊先生の言葉が印象的でした。参加された方からは「他のお母さん方の話を聞き、自分だけが悩んでいるわけではないとわかりました。学ぶことがたくさんありました。」「たくさん悩みを抱えておられる保護者の方どうしがつながれるよい機会だと思いました。」「渡邊先生に『行動の共有、感情の共有』について教わり、これまで言葉にならなかったことを言語化していただき、まさにそのとおりだと思いました。」などの感想を聞かせていただきました。短い時間ではありましたが、ホッとできるよい時間を過ごすことができました。

